



復建調査設計株式会社



スマートフォンを利用したハザードマップ



スマートフォンを利用し、ハザードマップの閲覧や室内の防災情報を現地で確認、また、3D情報提供技術

- ・スマートフォン及びタブレット利用し、現地でハザードマップを閲覧することが可能です。
- ・室内のPCにある防災情報や施設情報をスマートフォンやタブレットにより現地で確認し、データの修正・追加を行い、室内のPC内データを更新します。
- ・3Dプリンターを使用して、3Dデータから3D防災模型を作成し、模型をスマートフォンで見ることで避難所が確認できます。